

一般の方々から寄せられた総数 1,509 本の投稿から選出！

国語辞典『大辞泉』が選んだ「新語大賞 2021」を発表！

寄せられた新語のいくつかは『デジタル大辞泉』に収録します。
特別選考委員として明治大学の田中牧郎教授にご参加いただきました。

株式会社 小学館（本社：東京都千代田区）の国語辞典『大辞泉』編集部は、明治大学国際日本学部の田中牧郎教授（大辞泉編集協力者）をお招きし、一般の方々より寄せられた 1,509 本の投稿の中から「大辞泉が選ぶ新語大賞 2021」を選定したことをお知らせいたします。

■ 「大辞泉が選ぶ新語大賞 2021」はこの言葉に決定いたしました！



大賞 = 【親ガチャ】

子供がどんな親のもとに生まれるのかは運任せであり、家庭環境によって人生を左右されることを、カプセルトイのランダム性に例えた言葉。



次点 = 【人流】

人の、移動を伴う一連の動静。また、人々の流動や動線。（大辞泉 2021 年 4 月立項済み）

※大賞の【親ガチャ】の語釈は一般から投稿されたものです。今後、編集部で立項の採否を検討し、立項する場合は、執筆陣による語釈が『デジタル大辞泉』に収録されます。

※次点の【人流】の語釈は今年 4 月に既に『デジタル大辞泉』に立項済みです。

◆投稿数ベスト 10 は以下の通りです。

第 1 位	【親ガチャ】	1 0 2 本
第 2 位	【人流】	7 2 本
第 3 位	【ゴン攻め】	5 0 本
第 4 位	【押し活】	4 5 本
第 5 位	【まん防】	4 4 本
第 6 位	【副反応】	4 1 本 ※1
第 7 位	【マスク会食】	3 9 本
第 8 位	【マスク美人】	3 2 本
第 9 位	【マリトッツォ】	1 8 本
第 10 位	【SDGs】	1 1 本 ※2

※1 は 2011 年、※2 は 2017 年に「大辞泉」に立項済みですが、今年あらためて話題になり、多く投稿されましたので、投稿数ベスト 10 から除外しませんでした。

◆「大辞泉が選ぶ新語大賞」発表ページ

<http://www.daijisen.jp/shingo/>

も、ご参照ください！

<本件に関するお問合せ先>

株式会社小学館 出版局デジタルリファレンス『大辞泉』編集部 担当：大江
TEL：03-3230-5168 FAX：03-3230-9160 e-mail：daijisen@shogakukan.co.jp

■ 特別選考委員・田中牧郎教授による選評

新型コロナ2年目の新語——

新型コロナ禍2年目の今年、1,509件いただいた投稿を見ると、やはりコロナ関連の言葉が多かったという印象です。しかし、昨年の投稿上位【医療崩壊】【自粛警察】【ロックダウン】など、パニック的な恐ろしい言葉は鳴りを潜め、「ワクチン〇〇」や「マスク〇〇」など、コロナ予防にまつわる新語が多数生まれました。夏ごろには【ワクチン難民】【モデルナアーム】など、「自分にはいつ順番が回ってくるのか」「打ったあと、本当に大丈夫だろうか」という不安を反映した言葉が多かったものの、秋以降、驚異的な接種スピードと国内の感染数激減から、【ワクチンパスポート】【マスク会食】など、久しぶりのレジャーを意識した、やや明るい言葉が出はじめました。



言う方も言われる方も悲しい【親ガチャ】——

さて、編集部との協議の末、大賞には【親ガチャ】を選ばせていただきました。これは一昨年ごろインターネットに現れた言葉ですが、今年に入り、メディアなどで大きく取り上げられるようになりました。現代社会は、機会だけは平等に与えられることが前提となっています。しかし、格差の拡大・固定化がはっきりしてきて、その前提がタテマエでしかないと見抜いた若者たちの、タメ息まじりの流行語と言えます。いわば「アメリカン・ドリーム」の対義語。本心から親に文句を言っているわけではなく、社会への怒りから生まれた皮肉なのでしょうが、言われた親は悲しくなってしまうですね。また、人生の価値を「ガチャ」という軽い言葉で表現していますが、これは本気ではなくニヒルな構えから出た「遊び」と信じたいところです。



【人流】は古くて新しい言葉——

次点は【人流】です。投稿数ベスト1と2をそのまま選考した形となりました。こちらは、じつは昭和のころから官公庁の統計や白書などに使われていた言葉ですが、『大辞泉』だけでなく『日本国語大辞典』『広辞苑』『大辞林』に未収録でした。意味は、当時も今もほぼ同じ。ところが、近年、スマートフォンなどの普及による、位置情報のビッグデータとしての公共化から、的確な把握が可能となって注目を集めています。さらに今年は、新型コロナへの対抗手段として「密」を避けるために大いに利用されました。ともすれば「個人情報の国家による管理が…」との懸念を呼びがちなことですが、スルッと日常の言葉へと定着を果たしたようです。



田中牧郎（たなか・まきろう／明治大学国際日本学部教授）

1962年・島根県生まれ。東北大学文学部・卒業。東北大学大学院文学研究科・修士課程修了。東京工業大学大学院社会理工学研究科・博士課程修了。明治大学国際日本学部・教授。国立国語研究所・客員教授。日本語学会・評議員。日本医学会・用語管理委員。著書は『図解 日本の語彙』（三省堂／共著）。『近代書き言葉はこうしてできた』（岩波書店）。『コーパスと日本語史研究』（ひつじ書房／共著）他。

■「大辞泉が選ぶ新語大賞 2021」とは

「大辞泉が選ぶ新語大賞」は、『大辞泉』編集部が2016年にスタートさせた恒例企画。新しい言葉（新語）や今までにない新たな言葉の使い方（新語義）を一般から募集するオンライン参加型キャンペーンです。

6回目となる今年も、5月18日「ことばの日」から11月14日までの約半年間、一般の皆様からの投稿を大募集いたします。投稿いただいた中から、編集部が毎月「月間賞」となる新語を発表。さらに12月にはその中から「大辞泉が選ぶ新語大賞」を選定し発表いたします。

それらの新語は『大辞泉』デジタル版に採録し、アプリや電子辞書、「goo辞書」をはじめとする各種ポータルサイトの公式辞書に実際に掲載、実用化されるという画期的な企画です。



- 名称：大辞泉が選ぶ新語大賞 2021
- 副題：あなたの新語を辞書に載せよう。
- 実施概要：キャンペーンサイトの投稿フォームおよび Twitter にて、『大辞泉』に未収録の新語と新語義を広く募集します。小学館『大辞泉』編集部が収録候補となる作品を期間中毎月発表し、更に2021年12月1日には「大辞泉が選ぶ新語大賞」を発表。それらの言葉の語釈を、編集部が執筆陣に依頼し、2022年4月の改訂時に『大辞泉』デジタル版で載録します。
goo辞書、コトバンク、ジャパンナレッジでも順次掲載いたします。
- 投稿募集期間：2021年5月18日（火）～11月14日（日）
- 応募方法：キャンペーンサイトの投稿フォーム、もしくは Twitter からの投稿
- 応募先：①キャンペーンサイト <https://daijisen.jp/shingo/>
②Twitter ハッシュタグ #大辞泉新語 をつけて投稿
- 賞品：全応募者から抽選で、6月から11月まで毎月30名様に「Amazonギフト券500円分」をプレゼント（当選者合計180名様）。
またキャンペーン終了後には「大辞泉が選ぶ新語大賞」を選定し、その新語を投稿された方の中から抽選で「Amazonギフト券1万円分」を1名様にプレゼントします。※当選者の発表はメールでの賞品発送をもってかえさせていただきます。

■ 過去に「大辞泉が選ぶ新語大賞」を受賞した言葉

- 2020年……大賞【三密】 次点【コロナ禍】
- 2019年……大賞【イートイン脱税】 次点【闇営業】【にわかファン】
- 2018年……大賞【空白恐怖症】 次点【卒婚】【ご飯論法】
- 2017年……大賞【インスタ映え】
- 2016年……大賞【トランプショック】

■ キャンペーン期間中に毎月選出された「今月の新語」（月間賞）

◆5・6月◆

【高見え】本来は値段が高くない物だが見た目が高そうに見える物。インテリアなどでよく使われる。

【路上飲み】コロナ禍で飲食店が休業しているので、コンビニ等で酒類を買い路上で座り込んで飲んでる人のこと。

【教え魔】頼んでもいないのにやたらと教えてくる人。自分のやり方や考えが正しく、相手が間違っていると一方的に信じている場合が多く、感謝や尊敬を要求することもある。

【カニバリ】二つ以上の出来事の目的が同一で、お互いの求める利益が分散してしまうこと。

【マリハラ】早く結婚しろ等のハラスメント。

【**K字経済**】 Kの字のように富裕層と貧困層の二極化が進む経済の状態。コロナ禍で顕著になった。

◆7月◆

【**ワクチンパスポート**】 海外に行く時に新型コロナワクチンを接種したことの証明書がわりになるもの。

【**ファンアート**】 キャラクターや実在人物を基にした二次創作や似顔絵。

【**テレリンピック**】 テレビで見る、オリンピック、パラリンピック。テレリンピックとも。

【**闇通勤**】 会社から通勤手当として電車代などを受け取っているが、自転車で通勤すること。

【**キャンセルカルチャー**】 個人及び団体の言動に大衆が強く反発して、起用の取り消しや不買運動などが起こること。その場合、公的な職や立場から退くことを求められる。

【**溶かす**】 資産運用などの結果、元本が減ること。

◆8月◆

【**酸素ステーション**】 入院待機中の中等症コロナ陽性感染者向けの酸素吸入のための施設。

【**ゼロ打ち**】 投票が締め切られた直後（開票率0%）に、当選確実を打つこと。

【**ボディ・ポジティブ**】 従来の美の基準に束縛されず、ありのままの自分を受け入れて肯定しようというムーブメント。自己卑下をやめ、自尊心を取り戻し、自分自身を大切にすること。

【**わちゃわちゃ**】 複数人が仲が良さそうに話している状態。

【**ちゃんと感**】 手間やお金をかけていないのに、そう見えないものやこと。

【**これじゃない感**】 想定と異なる結果。

◆9月◆

【**親ガチャ**】 子供がどんな親のもとに生まれるのかは運任せであり、家庭環境によって人生を左右されることをカプセルトイのランダム性に例えた言葉。

【**おじさん構文**】 おじさんがメッセージアプリを利用する際に見られる特有な文章。無駄に絵文字や顔文字が多い。無駄に「！」や「？」を使う。妙に馴れ馴れしい。余計な自分語りと自慢。セルフツッコミと言いつつ。自覚の無いセクハラなどが特徴。

【**幽霊病床**】 新型コロナウイルス患者を「すぐに受け入れ可能」と申告しながら、ほとんど受け入れていない医療機関のこと。

【**微アル**】 「微アルコール」の略。ビールでもなくノンアルでもなく、酒税法上は清涼飲料水。

【**ハイフレックス型授業**】 同じ授業を対面授業とオンライン授業の双方で受講できる方法。

◆10月◆

【**スピンドクター**】 情報を操作して人々の心理を操る専門家。政治では、主に報道アドバイザーのこと。

【**モチベーションスピーカー**】 知名度のある一般人が SNS の職業欄に書く職業名。有名企業の元社員や元幹部が独立した後に名乗ることが多い。具体的な解決手法は提示せず、あくまでも前向きになれる弁論をする。

【**ブースター接種**】 ブースター（追加免疫）効果を狙うためのワクチン接種。

【**保護猫（犬）**】 飼い主がいらないなどの理由で、一時的に保護施設や個人宅で預かる猫（犬）。

【チルする】 のんびりする。まったりする。

【耳コピ】 耳コピーの略。耳で聞いて、楽譜にしたり演奏したりすること。

【目詰まり】 進行が阻まれること。

◆11月◆

【自肅明け】 新型コロナウイルス防止対策のひとつ・緊急事態宣言期間及び蔓延防止対策等の任意の自肅期間が終了した後のこと。

【目汚し】 自分の作品や持ち物などを相手に見せることをへりくだってという語。

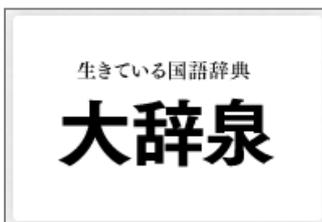
【てまえどり】 食品のロスを削減するため、消費者に対して、商品棚の手前にある消費期限などが短い商品から順次購買してもらう行動。

【ミーグリ】 ミートアンドグリートの略。著名人と一般人が直接会って話せる交流会のイベント。

【ばらまき政策】 コロナ禍の経済対策として、国が国民に給付金を与える政策。

※これらは一般の方によって投稿された語積ですので、そのまま収録されるのではなく、編集部が新たに執筆陣に依頼し、今後の改訂時に『デジタル大辞泉』のデータとして正式に収録される予定です。【三密】などは既に収録済です。

■『大辞泉』はネット&デジタル時代にマッチした“生きている国語辞典”



新しい言葉の採録に積極的に取り組んでいる“生きている国語辞典”『大辞泉』のデジタル版データは、最新採録語数・約30万9650語（2021年11月現在）に達し、ネット辞書のなかでもナンバーワン。さらに毎年3回、毎回約2,000語の新語を追加し定期更新しています。その先進性が評価され、コトバンク、goo辞書など国内主要ポータルサイトの辞書データとして採用されているほか、主要な電子辞書にも搭載されています。デジタル時代にマッチした国語辞典として、今後も日々生まれゆく新しい言葉をキャッチし、立項・アップデートしていきます。

■『大辞泉クイズ ことばの総泉挙』実施中！一日一問で「言葉の達人」を目指せ！



『大辞泉』公式ウェブサイト内のコーナー「大辞泉クイズ ことばの総泉挙」では、間違いやすい言葉の用例について毎日一問ずつクイズ形式で出題し、みなさんの言葉のセンスと知識に挑戦しています。楽しみながら「言葉の達人」を目指せるこのコーナーに、ぜひ一度遊びに来てください。

<https://ssl.japanknowledge.jp/daijisen/index.php>

www.daijisen.jp または **大辞泉新語** で検索！

<本件に関するお問合せ先>
株式会社小学館 出版局デジタルリファレンス『大辞泉』編集部 担当：大江
TEL：03-3230-5168 FAX：03-3230-9160 e-mail：daijisen@shogakukan.co.jp